

岐 阜 医 学 功 労 賞 受 賞 者

| 年 号 | 氏 名 | 受 賞 テ ー マ |
|--------|-------|---|
| 平成5年度 | 磯野日出夫 | 先生 岐阜県の医療の向上に対して多大の貢献 |
| | 永井俊夫 | 先生 岐阜県の救急医療体制の整備運営に対して貢献 |
| 平成6年度 | 鶴見介登 | 先生 岐阜県の医療向上にたいして貢献 |
| | 時光直樹 | 先生 永年に亙り飛騨地区医療にたいして貢献 |
| 平成7年度 | 小川亮恵 | 先生 リウマチ性疾患の診療・研究に貢献 |
| | 加藤正夫 | 先生 岐阜県の医療行政・県民の医療、健康増進に尽力 |
| 平成8年度 | 松永隆信 | 先生 岐阜県の医療向上のため努力 |
| | 平野恭弘 | 先生 岐阜県の医療行政・県民の医療、健康増進に尽力 |
| 平成9年度 | 山田 弘 | 先生 永年に亙り岐阜県の医療向上のため努力 |
| | 臼井弘行 | 先生 医師を取り巻く諸問題についての技術・知識の向上に貢献 |
| | 森次保雄 | 先生 我が国のビールス性肝炎研究・ワクチンの開発・予防医学に多大の貢献 |
| 平成10年度 | 大沢一郎 | 先生 岐阜県の医療体制全般に亙る基礎の構築 |
| 平成11年度 | 国枝篤郎 | 先生 本学の外科学、手術部等において優れた研究と優秀な医師の養成に多大の貢献 |
| | 野澤義則 | 先生 地域医療の発展に優れた業績と医師の養成に多大の貢献 |
| | 宮田英雄 | 先生 本学の移転統合を始め地域医療の向上に多大の貢献 |
| 平成12年度 | 柴山麿樹 | 先生 「岐阜県肺がん研究会を主催され、各地区で定期的胸部疾患読影研究会及び画像診断検討会等を開催され医療の向上・発展」など多大の貢献 |
| | 岩田弘敏 | 先生 「第57回日本公衆衛生総会会長を勤められ、特に振動病障害に対する診断法を確立され、さらに岐阜県における公害対策・環境評価・感染症予防」など多大の貢献 |
| 平成13年度 | 林 幹夫 | 先生 「各務原市医師会理事20年、開業30年を記念して厚生大臣賞。並びに県下の『不登校児と悩める家族の現状』に20年間熱心に懸かり文部大臣賞等の輝く賞」を受けられ地域医療に多大の貢献 |
| | 武内章二 | 先生 「岐阜大学医療技術短期大学の創設以来、部長としてその発展に努め、四年制の医学部看護学科への改組を導き、また岐阜大学評議員としての活躍」など多大の貢献 |
| 平成14年度 | 井口恒男 | 先生 「長年の間、岐阜県の地域保健課長、衛生環境部長、保健環境研究所長などを勤め、岐阜県の保健医療行政・公衆衛生の向上に多大の貢献 |
| | 大谷 勲 | 先生 「多年にわたり鑑定医として数多く県民の法医解剖・鑑定を行いまた法医学知識の普及に尽力されるなど司法の適正な運用に」多大の貢献 |
| 平成15年度 | 佐治重豊 | 先生 消化器外科学分野の教育・研究・診療における優れた業績を挙げ、医学・医療の進歩に、又医学部附属病院の維持・運営・発展を通して岐阜県医療の実際、並びに行政の発展に寄与し多大の貢献 |
| | 磯貝和俊 | 先生 岐阜大学各臨床科の立場を高め又泌尿器科診療を通して、岐阜県医療のため多大の貢献 |
| | 佐野正純 | 先生 1957年から岐阜大学医学部同窓会会長及び社団法人岐阜医学研究協議会理事長の重責を遂行され、同窓会・医学研究協議会の発展にご尽力と多大の貢献 |
| 平成16年度 | 櫻木良友 | 先生 岐阜県下における乳がん検診法の普及、臨床研究に基づく乳がん治療の質の向上と後進の育成のため多大の貢献 |
| | 坂井 昇 | 先生 多年にわたり脳神経外科分野の発展と脳外科医の育成努められ岐阜県下の救急医療発展のため多大の貢献 |
| 平成17年度 | 太田和夫 | 先生 岐阜県武儀医師会会長を平成3年4月から平成16年3月まで勤め地域医療の充実に多大の貢献 |
| | 星野睦夫 | 先生 長く揖斐総合病院長(現名誉院長)・外科医として岐阜県の地域医療向上のため多大の貢献 |

| | | | |
|--------|-------|----|---|
| 平成18年度 | 高木幸子 | 先生 | 女子医専卒業生の代表として医学部同窓会の活動と地域医療の向上に対して多大なる貢献 |
| | 松下捷彦 | 先生 | 医学部同窓会の発展及び岐阜県の医療向上、特に飛騨地区の医療に対して多大の貢献 |
| 平成19年度 | 松田美泰 | 先生 | 岐阜県の医療向上、特に母子保健対策や県民の健康意識の向上に多大なる貢献 |
| | 清水 勝 | 先生 | 永年に亘る岐阜県の医療向上、特にウイルス肝炎の専門家として研究・診療に優れた功績並びに発展に対して多大なる貢献 |
| 平成20年度 | 堀永 昌 | 先生 | 永年にわたる岐阜県の公衆衛生医療向上、特に予防医学において優れた功績並びに医師の養成に多大なる貢献 |
| | 蟹江 匡 | 先生 | 永年にわたり岐阜県内の約5千人以上の医療人教育に尽力、特に医師・臨床検査技師・看護師・診療放射線技師の養成に多大なる貢献 |
| 平成21年度 | 村瀬恭一 | 先生 | 国立療養所豊橋東病院長、岐阜県立岐阜病院長として医療内容のみならず、医療行政の面でも医療機関の発展に多大なる貢献 |
| | 廣瀬清一郎 | 先生 | 眼科の専門家として研究・臨床及び学生教育に尽力、特に眼科診療の指導的役割をはたすとともに地域の健康管理・予防医学に多大なる貢献 |
| | 北島康雄 | 先生 | 稀少難治性皮膚疾患の病態・診断・治療法に対する貢献並びに全国初の完全電子化病院と全国最大規模の高次救命治療センターの設置に多大なる貢献 |
| 平成22年度 | 松波英一 | 先生 | 社団法人岐阜医学研究協議会の設立に尽力、医学部同窓会並びに社団法人岐阜医学研究協議会の運営発展に多大なる貢献 |
| | 二村敦朗 | 先生 | 国立病院機構長良病院小児外科に長年勤務され、病院長として発展並びに医療センターの設立に尽力、社会保険診療報酬支払基金審査委員及び委員長を歴任され保険行政に多大なる貢献 |
| | 岩砂和雄 | 先生 | 永年に亘り医療機関組織のリーダーとして国内の医療・福祉の向上及び岐阜県下の医術・公衆衛生の発展に多大なる貢献 |
| | 堀場通明 | 先生 | 永年に亘り呼吸器科の専門家として、岐阜県内の気管支喘息治療向上に多大なる貢献 |
| 平成23年度 | 伊藤和夫 | 先生 | 神経細胞学とテュートリアル教育の発展に多大の貢献 |
| | 清水弘之 | 先生 | 岐阜県の医療の向上に対して多大の貢献 |
| 平成24年度 | 下條和敏 | 先生 | 心療内科の専門家として地域医療の向上に尽力、同窓会の活動に多大なる貢献 |
| | 古橋貞二郎 | 先生 | 恵那地域における「高齢者医療と介護の先進的な取組み」及び介護保険制度発足後12年間の「シンポジウム開催による老人介護普及活動」に多大なる貢献 |
| 平成25年度 | 江口 孝 | 先生 | 国民健康保険事業の発展に尽力し厚生大臣賞、小学校医を長年務め地域医療に多大なる貢献 |
| | 松田 朗 | 先生 | 永年に亘る中央省庁での衛生行政を中心としたその維持、推進に尽力 |
| | 近藤直実 | 先生 | アレルギー、免疫、分子遺伝学を中心に患者と地球に優しい医学と医療を展開し、地域と地球(世界)に大きく貢献 |
| | 渡邊邦友 | 先生 | 岐阜大学生命科学総合研究支援センター長として学内共同利用施設の基盤整備に努め岐阜大学の発展に多大なる貢献 |
| | 岡野幸雄 | 先生 | 生化学及び分子病態学教育の発展並びに岐阜大学の管理運営に多大なる貢献 |
| 平成26年度 | 伊藤隆夫 | 先生 | 30年余岐阜市民病院(現名誉院長)に奉職され乳腺外科外来の礎作りに尽力、地域医療の向上に多大なる貢献 |
| | 鈴木大輔 | 先生 | 岐阜県の地域医療の向上に尽力、同窓会活動に多大なる貢献 |

| | | | |
|--------|-------|----|--|
| | 松本興治 | 先生 | 永年に亘り血管外科医として学術研究と岐阜・愛知県および郷里の地域医療の向上に尽力 |
| | 森 秀樹 | 先生 | 岐阜大学学長として大学の教育・研究の発展及び管理運営に多大なる貢献 |
| | 石塚達夫 | 先生 | 糖尿病・リウマチ膠原病の診療及び研究の総合的展開に多大なる貢献 |
| 平成27年度 | 佐々木 晃 | 先生 | 整形外科医療の発展並びに岐阜県の地域医療 特に高齢者医療、小・中学生のスポーツによる疾病に対する医療の向上に多大なる貢献 |
| | 渡辺佐知郎 | 先生 | 県立3病院独立行政法人化に努力し岐阜県総合医療センター初代理事長兼院長として三次周産期救急システムの設立を始めとした地域医療に多大なる貢献 |
| | 後藤紘司 | 先生 | 岐阜大学保健管理センター長として学生、職員の健康管理に尽力、内科医として岐阜県の地域医療に多大なる貢献 |
| 平成28年度 | 安藤 喬 | 先生 | 岐阜市医師会訪問看護ステーションの設立に尽力、介護予防認知症対策、介護保険認定などに委員長として地域医療の向上に多大なる貢献 |
| | 小林成禎 | 先生 | 電子内視鏡のハレーション除去装置の改良に尽力され特許を取得、日本の消化器内視鏡医学の発展に多大なる貢献 |
| | 恵良聖 一 | 先生 | 分子生理学分野教授として永年に亘り医学・生理学教育の発展並びに医師の養成に多大なる貢献 |
| | 江崎孝行 | 先生 | 病原細菌の教育に多年にわたり勤め、社会的には国の安全審議員として国民の安全を守るために多大なる貢献 |
| 平成29年度 | 加藤 稔 | 先生 | 永年に亘り飛騨地区の医療の向上に多大なる貢献 |
| | 武久洋三 | 先生 | 永年に亘り日本慢性期医療協会の会長として日本における医療・介護のより良い連携の推進に多大なる貢献 |
| | 東田陽博 | 先生 | 神経化学基礎研究の第一人者として優れた業績を上げるとともに自閉症の社会性障害の神経内分泌学的見地による治療法の開発に多大なる貢献 |
| | 犬塚 貴 | 先生 | 医学部長として医学教育に尽力、神経内科・老年学研究の発展及び医学部同窓会に多大なる貢献 |
| | 渡辺郁雄 | 先生 | 永年に亘りスポーツ医学の研究及びスポーツドクターの育成やスポーツ科学による競技力向上に対して多大なる貢献 |
| | 棚橋 忍 | 先生 | 永年に亘り飛騨地域における医療の向上に尽力、国内救護及び国際的に活躍出来る医療人の育成に多大なる貢献 |
| 平成30年度 | 山口清次 | 先生 | 先天代謝異常の病因・病態解明とわが国の新生児マススクリーニングの発展に多大なる貢献 |
| | 加納宣康 | 先生 | 永年に亘り臨床医、研究者、指導医として医療の向上、発展に多大なる貢献 |
| | 清島 満 | 先生 | 医学部長として医学教育に尽力、病態情報解析医学分野の発展に多大なる貢献 |
| | 湊口信也 | 先生 | 医学部長、循環病態学・呼吸病態学分野教授として医学教育・研究の発展に多大なる貢献 |
| | 出口 隆 | 先生 | 泌尿器学分野教授として医学教育に尽力、若手泌尿器科医の育成を通じて地域における泌尿器科医療の充実と向上に多大なる貢献 |
| 令和元年度 | 大橋宏重 | 先生 | 永年に亘り腎臓内科の専門医、指導医として医療の向上、発展に多大なる貢献 |
| | 高桑 薫 | 先生 | 永年に亘り飛騨地域における慢性腎不全患者の医療の向上に多大なる貢献 |
| | 川上憲人 | 先生 | 地域および職場における精神保健学研究の第一人者として優れた業績を上げるとともに、効果的な職場のメンタルヘルス対策の方法論の開発と普及、人材育成に多大なる貢献 |

| | | | |
|-------|-------|----|---|
| | 武内康雄 | 先生 | 法医学分野教授として医学教育、研究の発展、同窓会活動に多大なる貢献 |
| | 伊藤八次 | 先生 | 耳鼻咽喉科学分野教授として教育、研究、耳鼻咽喉科医育成に多大なる貢献 |
| 令和2年度 | 天野宏一 | 先生 | 永年に亘り精神科の専門医として特にアルコール依存症治療における医療の向上、発展に多大なる貢献 |
| | 杉下總吉 | 先生 | 永年に亘り地域医療体制の構築と医療の向上に尽力、不整脈のスペシャリストとして多大なる貢献 |
| | 牧野茂徳 | 先生 | 公衆衛生の第一人者として医学教育、研究、地域および職域保健に多大なる貢献 |
| | 安江隆夫 | 先生 | 県下最初の循環器科を県病院に創設し多くの循環器専門医を育成、国保審査会会長として保険行政に尽力並びに長年同窓会副会長として多大なる貢献 |
| 令和3年度 | 西尾駿伸 | 先生 | 永年に亘り西濃地区の医療、保健衛生、学校保健分野の向上、発展に多大なる貢献 |
| | 荒川迪生 | 先生 | 永年に亘り循環器の専門医として岐阜県における循環器診療の礎を築き、また国民健康保険医療指導監査医として広く保険医療の充実に多大なる貢献 |
| | 喜久生明男 | 先生 | 長年に亘りスポーツ医学の専門医として医療の向上と発展、地域社会の健康およびスポーツ界へのサポートに多大なる貢献 |
| | 山本明史 | 先生 | 永年に亘り皮膚悪性腫瘍の専門医として本邦のリーダー的存在で、診療・研究・教育の向上、発展に多大なる貢献 |
| | 村上啓雄 | 先生 | 地域医療医学センター教授として岐阜県の地域医療の確保、感染症の専門医として岐阜県の感染対策の質の向上に多大なる貢献 |
| | 鈴木康之 | 先生 | 医学教育開発研究センター教授として医学教育の発展に多大なる貢献 |
| | 清島眞理子 | 先生 | 皮膚病態学分野教授として医学教育に尽力、皮膚科医の育成を通して地域における皮膚科医療の充実に多大なる貢献 |
| 令和4年度 | 富田剛司 | 先生 | 永年に亘り眼科の専門医として特に眼底画像解析による緑内障の診断・治療法における医療向上、発展に多大なる貢献 |
| | 川出靖彦 | 先生 | 岐阜県の医療向上、発展及び長年にわたり医学部同窓会副会長として同窓会活動に多大なる貢献 |
| | 森脇久隆 | 先生 | 岐阜大学学長として大学の教育・研究の発展及び管理運営に多大なる貢献 |
| | 飯田宏樹 | 先生 | 麻酔科・疼痛医学分野教授として周術期の安全管理と難治性疼痛の治療に多大なる貢献 |
| 令和5年度 | 松島昭廣 | 先生 | 長年の病院長職にあり小児神経専門医として重症心身障害児医療の質の向上、後進の育成に多大なる貢献 |
| | 齋藤公志郎 | 先生 | 永年に亘る地域医療の向上、岐阜県地域医療構想の具現化に至る多大なる貢献 |
| | 横山 孝 | 先生 | 永年にわたり地域医療および整形外科・臨床医学研究の発展に多大なる貢献 |
| | 小澤 修 | 先生 | 薬理病態学分野教授として薬理学の教育および研究に多大なる貢献 |
| | 岩間 亨 | 先生 | 脳神経外科学分野教授として医学教育、研究、脳神経外科医育成に多大なる貢献 |
| | 桑田一夫 | 先生 | 遺伝発生学分野教授として医学教育、蛋白質立体構造形成過程の研究及びこれに基づくプリオン病治療薬開発に多大なる貢献 |
| | 下澤伸行 | 先生 | ペルオキシソーム病病因遺伝子の発見から小児難病診断研究の社会実装への多大なる貢献 |